

# ポーター賞



## 戦略とイノベーションに優れた日本企業を表彰

日本科学技術連盟がデミング賞を創設したことで、日本の産業界に品質改善運動が始まった。ポーター賞運営委員会は同賞が、「戦略重視」という新しい経営刷新運動のきっかけになることを目指す。



2002年度「ポーター賞」の授賞式風景

### Who's マイケル・E・ポーター



ポーター教授は、ハーバード大学のピショップ・ウィリアム・ローレンス・ユニバーシティ・プロフェッサーである。現在は、ハーバード・ビジネススクールを拠点に活動している。競争戦略論および国際競争力研究の権威。ユニバーシティ・プロフェッサーとは、ハーバード大学の教員に与えられる最高の名誉であり、ハーバード・ビジネススクールの長い歴史の中でも、ポーター教授を含めて4人にしか与えられていない。ハーバード・ビジネススクールとハーバード大学が、2001年に共同で創設した「戦略競争研究所」の初代所長に就任している。

新しい運動のきっかけになることも目指している。

同賞では、製品、プロセス、経営手法の三分野においてイノベーションを起こし、独自性のある優れた戦略を実践し、その結果として業界において高い収益性を達成・維持している日本の企業・事業部門が選ばれている。賞には「単一事業を営む企業の部」と「複数事業を持つ企業の事業部の部（多角化企業の一事業部の二部門がある）」の二部門がある。

選考基準は、(1)業界平均を大幅に上回る投下資本利益率(ROI)と(2)他社とは異なる独自性のある価値を提供していること、(3)戦略に一貫性があること、(4)戦略を支えるイノベーションが存在すること、などである。競争戦略の

「何をしないか」の選択と個人の信用取引への特化。複数事業を持つ企業の事業部の部 キヤノン(株) レンズ事業部 レンズ・レンズ周辺の制御技術での継続的なイノベーション。 HOYA(株) ビジョンケアカンパニー 高付加価値・カスタマイゼーション戦略。

「何をしないか」の選択と個人の信用取引への特化。複数事業を持つ企業の事業部の部 キヤノン(株) レンズ事業部 レンズ・レンズ周辺の制御技術での継続的なイノベーション。 HOYA(株) ビジョンケアカンパニー 高付加価値・カスタマイゼーション戦略。

「何をしないか」の選択と個人の信用取引への特化。複数事業を持つ企業の事業部の部 キヤノン(株) レンズ事業部 レンズ・レンズ周辺の制御技術での継続的なイノベーション。 HOYA(株) ビジョンケアカンパニー 高付加価値・カスタマイゼーション戦略。

「何をしないか」の選択と個人の信用取引への特化。複数事業を持つ企業の事業部の部 キヤノン(株) レンズ事業部 レンズ・レンズ周辺の制御技術での継続的なイノベーション。 HOYA(株) ビジョンケアカンパニー 高付加価値・カスタマイゼーション戦略。

「何をしないか」の選択と個人の信用取引への特化。複数事業を持つ企業の事業部の部 キヤノン(株) レンズ事業部 レンズ・レンズ周辺の制御技術での継続的なイノベーション。 HOYA(株) ビジョンケアカンパニー 高付加価値・カスタマイゼーション戦略。

「何をしないか」の選択と個人の信用取引への特化。複数事業を持つ企業の事業部の部 キヤノン(株) レンズ事業部 レンズ・レンズ周辺の制御技術での継続的なイノベーション。 HOYA(株) ビジョンケアカンパニー 高付加価値・カスタマイゼーション戦略。

### What's 「ポーター賞」

一橋大学大学院国際企業戦略研究科の竹内弘高・研究科長が提唱し、ポーター教授の名を冠して作られた賞。独自性のある戦略を実行し、成功を収めてきた日本の事業部や企業を表彰する。戦略とともに実践例を広く紹介することで、優れた戦略とは何かを理解してもらい、新たな独自性ある戦略が構築されることを目標とする。選考には慶応、神戸、東京、一橋の4大学から、まったくの無報酬で集まった匿名の審査員が当たる。競争戦略のゴールは、「利益」であることを明確に打ち出しているところに特徴がある。

### ポーター賞に関する問い合わせ先

一橋大学大学院国際企業戦略研究科  
ポーター賞運営委員会  
Tel: 03-4212-3072  
Fax: 03-4212-3069  
e-mail: info@porterprize.org  
URL: http://www.porterprize.org

優れた戦略を実行している日本の企業(事業部門)を対象とし、2001年に創設された「ポーター賞」が今年で三回目を迎える。ポーター賞は、一橋大学大学院国際企業戦略研究科が、競争戦略論と国際競争力研究の第一人者であるハーバード大学のマイケル・E・ポーター教授をアドバイザーとして迎え創設されたものだ。同賞の目的は、表彰を通じて、日本企業を業務の効率性による競争から戦略による競争へと促すこと、さらにこれによって、日本企業の競争力を強化することにある。1951年に日本科学技術連盟(JUSE)がデミング賞(故W・E・デミング博士に由来)を創設したことによって、全国的な品質運動が始まったように、ポーター賞が「戦略」という

オリックス(株) 一般ファイナンス事業部門 中小企業のニーズ把握と与信能力に優れた全国の営業所によって四〇種類に及ぶ金融商品・サービスをクリックセル。 賞の創設早々、レベルの高い応募が集まる結果となった。このため第一回、第二回ともに、受賞枠を特別に拡大して賞が贈られた(通常は各部門ごとに一社)。ちなみに、第二回の受賞企業三社は、第一回から連続して応募した結果の受賞となった。 参加するだけでも数多くのメリット ポーター賞の応募は一切無料である。ただし、賞金もない。それにもかかわらず、応募企業が増えていること、さらには前述した三社のように、受賞まで毎年応募し続ける企業が出てきた理由はどこにあるのだろうか。 一つには、自社の社会的認知の向上、広告効果が期待されるという点がある。ポーター賞では、受賞対象事業の事例研究が『一橋ビジネスレビュー』(弊社刊)に連載される。また、受賞事業のケーススタディは、国際的なケース・クリアリングハウズに登録され、世界中のビジネスス